

if

山動  
風とびる  
ちゃん

R-18  
ADULT ONLY

提督に懐いた山風が  
出撃の際、本来なら  
提督と共に出撃する  
事になるのだが――

これは  
前回の話

これは  
共に行かなかった

ifの話

やってしまった…

山風が中破して帰ってきて  
とても怯えていたのに…

あの姿や表情で  
擦り寄られた  
もんだから…





暫くしたら  
我慢できなくなつて

そのまま  
やっつけてしまつた...



これは  
早いうちに  
謝らないと

山風はもう  
ドックアがつてるよな

山風  
居るか？

提督の癖に  
何て事してんだ！

山風も  
初めてで  
あんなに痛がつて  
泣いてたし...

ガキヤ

てい...  
とく？



さっきの件についてなんだが…

そう言えばこの部屋  
みんなが気をつかって  
山風一人で使ってるんだっけ

パタン



本当にすまなかった事を  
取り返しのつかない事を  
したとわかつてる

君が望む事なら  
どんな責任もとる

何なら最悪  
俺がこの鎮守府を降りてー



嫌だよ!  
嫌だからね!



タッ





提督が居なくなったら  
あたし...あたし!

ちよっ!?



はー...

提督...  
あの時みたいに  
大きく...♡

はー...



やばっ



山嵐...  
一回しただけで  
こんなに上手く

ちよっ!

ん!



ちょっとおい山風！  
何してっー

手でこすれば  
いいのかな？

確か  
あの時提督  
あだしの胸よく見てたから

恥ずかしい  
けど……



うっー  
改めて見ると  
駆逐艦なのに  
すごいっ

がるん







しかも  
教えてもないのに  
そんな事まで？

ここに  
押し当てたら  
いいのかな？

なんか  
又ル又ルしてきた  
上手く押し当てれない…

ブキキ

ネト



挟めば  
大丈夫かな？

提督  
気持ちいい？

あっああ…  
凄く気持ちいいよ…

レウキッ

レウキッ



山かっ...ぜ!  
もうっ!!!

んっ!!

ずっ

提督のおちんちん  
あたしの膣内で  
沢山動いてたから  
沢山動かすと  
気持ちいいんだよね...

ずっ



山風...  
何故こんな事を

これ...  
せい...えき?

そこまでして  
俺に居てほしいのか?

ずっ!!  
好き...  
♡

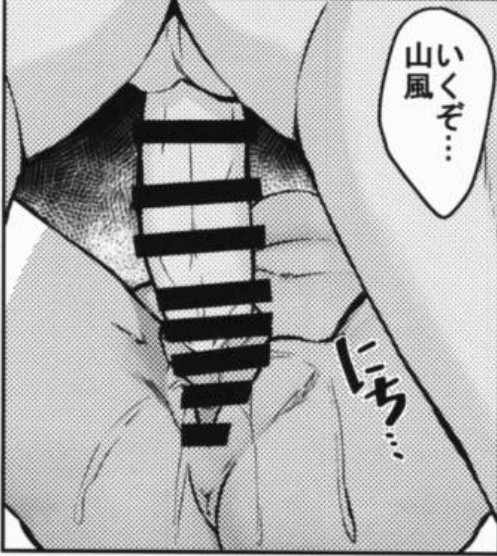


そうだ  
山風にはもう俺じゃ  
居ないんだ...!! なら





応えてやるべき  
なのかもしれないー



いくぞ...  
山風

んん...



提督...

来て



トクッ

おっ



やまっ——

山風！  
大丈夫か！？

ちゅっ



もう  
痛みはないの  
だろうか…

山風っ  
食るよう  
に  
し  
が  
み  
つ  
い  
て  
く  
る

グキョッ

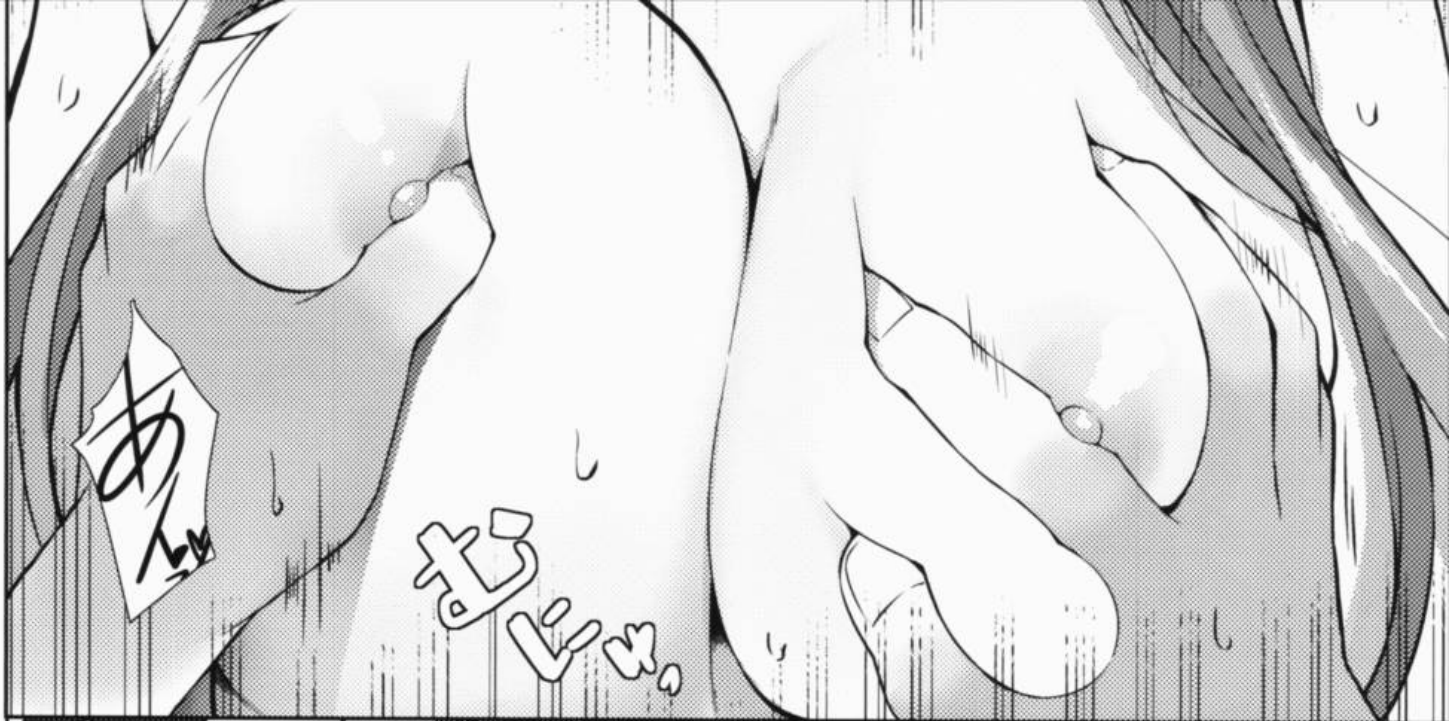
ちゅっ

グキョッ

あろっ

ちゅっ







山風  
そろそろ射精る!

ぱん  
ぱん

すい  
すい

すい  
すい

ぱん  
ぱん

すい  
すい

ぱん  
ぱん

抜くからな  
っておい!

ぱん  
ぱん

ぱん

ぱん

ぱん

ぱん



あ

あ





この日から  
山風との性行為が  
繰り返される事になる





勤務中

提督室

山風流石に仕事中はやめっ！

最近の容赦がなくなりつつある隙に







いつも構ってくれるお礼として甘えてほしいとの事

しかしこれは…

提督  
いい子  
大きい子  
吸って  
くれる

何処かで覚えてきたのだろう  
若干棒読み感があるが  
悪くないと思ってしまう



我慢しないで  
しーしー  
しようねえ

しー  
しー

風呂の時間に  
俺が山風の胸が  
知った上でそれを  
身体を洗って使っ  
てくれるの



提督の  
大きくなってきた

そりゃ  
こんな事されたら  
ムラムラするさ...







結局  
最後までしてしまった



じゃあ  
スツキリ  
させなきゃ…



提…督…

最近他の艦娘の  
視線が痛いなあ

おそらく  
山風との事は  
バシてんだらうなあ

とりあえず  
今日はもう寝るか…

っておいおい

結局  
俺は山風に  
流されてしまっている



江風  
どうかした？

海風の姉貴

いやさ  
山風の姉貴  
どうしてるかなあって



江風は  
山風の姉貴が元気なら  
それでいいんだ

江風…



山風ね  
最近提督の傍に  
全くみてないけど  
ね

江風も見てない  
あの出撃以来だしね



また一緒になって  
お話できないのかしら…





山風にはもうと  
俺っしか居ないが

ちよっ山風  
飛ばし過ぎだぞ

ビクッ  
ビクッ



ちよっ  
ちよっ  
ちよっ

ズリ  
ズリ  
ズリ



ちよっ  
ちよっ

ずり  
ずり  
ずり

ちよっ

ズリ  
ズリ

ズリ  
ズリ

提督の  
今日も元気…

山風に依存してるのは  
俺の方かもしれない…

ねえ♥

早くしよ?

ちよあ…



# あとがき

どうもヤッペンです。  
なんかだいぶ久々なエロな気がします。  
今回は前回の本のifストーリーで  
もし提督が普通に出撃を許して  
普通に山風を意識してたら  
こうなりましたって話です。  
ぶっちゃけ前回の提督がおかしかった  
気がする。  
山風は両手を広げて甘える構図がよく  
似合いますねえ、可愛いです。  
もっと上手く描けたらなあって思う  
部分は沢山あるのですが、  
その思いが伝わってくれれば幸いです。  
それではここまでお読みいただき  
ありがとうございます。  
次描く本でまたお会いしましょう。

## 奥付

発行：ヤッペン！

発行日：2017/12/31

著者：ヤッペン

Twitter：@yatt83

pixiv：<https://pixiv.me/sasurainoyasuo>

mail：yatt83\_bokudesu@yahoo.co.jp

印刷：サンライズパブリケーション様

アツギ!

